

情報連絡員総括表（2023年8月）

— 静岡県中小企業団体中央会 —

本書は、静岡県中小企業団体中央会が委嘱した情報連絡員〔協同組合等の役職員 60 名〕による毎月の景況調査の集計結果です。

1. 概況報告
2. 項目別の前月・今月のDI値の比較
3. 情報連絡員からの報告
4. 主要三指標におけるDI値の推移（グラフ）

・本調査の見方・

◎売上高等の9項目につき 前年同月と比較し、好転・不変・悪化 のいずれかを回答

$$DI値 = [(好転組合数 - 悪化組合数) / 調査対象組合数] \times 100$$

※全項目が前年同月比「不変」となった場合は、DI値は基準値 ±0.0 (=横ばい) で推移
※「在庫数量」のみ、プラス値が高いほどマイナス要因と定義

1. 概況報告 (回答者数 58 名 : 回収率 96.7%)

○2023年8月のDI値は、前月との比較において、「在庫数量」「設備操業度」以外の7つの指標が悪化した。「収益状況」が15.7ポイント悪化したほか、「売上高」も15.3ポイント悪化しており、取引先の生産調整、猛暑・豪雨、原材料価格高騰による買い控え等、各業界が様々な事情で苦しい状況に置かれている。

○「製造業」では、前月との比較において「売上高」「収益状況」「販売価格」の3つの指標が悪化した。電気機械器具製造業からは「電気自動車の普及によりプレス加工会社の受注が減少している」「主要取引先の仕事量減少のため、他からの仕事を受注しなければならないので対応が厳しい」とコメントがあるなど、EV化による関連業界への影響が見られる。一方「在庫数量」「資金繰り」「雇用人員」を含む4つの指標が改善した。特に「在庫数量」は13.3ポイント改善しており、売上高悪化の状況において県内企業の好判断が見える。

○「非製造業」では、前月との比較において、「在庫数量」「販売価格」の2指標が改善し、その他6指標が悪化した。特に「収益状況」は24.9ポイント、「売上高」は20.5ポイント悪化している。依然として燃料価格高騰による収益悪化の声も大きい中で、野菜・果実小売業からは「酷暑の影響で果菜類、葉菜類全般の入荷が少なく、高値になっている」宿泊業からは「台風7号の影響で、お盆期間にキャンセルが多く発生しマイナスの原因となった」と悪天候による要因も見られた。また、総合工事業からは「インボイス制度の導入により、いわゆる一人親方という立場の職人が廃業して転職するケースが増えている」とコメントがあり、制度改正に対応できない小規模事業者が廃業を選ばざるを得ない状況にある。

(DI値)

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
2023年8月	-1.7	-9.1	31.1	-6.9	-27.6	-22.4	-16.7	-24.2	-25.9
2023年7月	13.6	4.7	39.0	-1.7	-11.9	-18.6	-16.7	-20.3	-25.4
増減	-15.3 ↓	-13.8 ↑	-7.9 ↓	-5.2 ↓	-15.7 ↓	-3.8 ↓	0.0 -	-3.9 ↓	-0.5 ↓

2.項目別の前月・今月のDI値の比較

		製造業				非製造業				全体			
		DI値	増減		DI値	増減		DI値	増減		DI値	増減	
売上高	2023年8月	-10.0	-10.0	ポイント	↘	7.1	-20.5	ポイント	↘	-1.7	-15.3	ポイント	↘
	2023年7月	0.0				27.6				13.6			
在庫数量	2023年8月	-10.0	-13.3	ポイント	↗	-7.1	-14.8	ポイント	↗	-9.1	-13.8	ポイント	↗
	2023年7月	3.3				7.7				4.7			
販売価格	2023年8月	20.0	-16.7	ポイント	↘	42.9	1.5	ポイント	↗	31.1	-7.9	ポイント	↘
	2023年7月	36.7				41.4				39.0			
取引条件	2023年8月	0.0	0.0	ポイント	-	-14.3	-10.8	ポイント	↘	-6.9	-5.2	ポイント	↘
	2023年7月	0.0				-3.5				-1.7			
収益状況	2023年8月	-33.3	-6.7	ポイント	↘	-21.4	-24.9	ポイント	↘	-27.6	-15.7	ポイント	↘
	2023年7月	-26.6				3.5				-11.9			
資金繰り	2023年8月	-26.7	3.3	ポイント	↗	-17.9	-11.0	ポイント	↘	-22.4	-3.8	ポイント	↘
	2023年7月	-30.0				-6.9				-18.6			
設備操業度	2023年8月	-16.7	0.0	ポイント	-	/				-16.7	0.0	ポイント	-
	2023年7月	-16.7								-16.7			
雇用人員	2023年8月	-20.0	3.3	ポイント	↗	-28.6	-11.3	ポイント	↘	-24.2	-3.9	ポイント	↘
	2023年7月	-23.3				-17.3				-20.3			
業界の景況	2023年8月	-23.3	6.7	ポイント	↗	-28.6	-7.9	ポイント	↘	-25.9	-0.5	ポイント	↘
	2023年7月	-30.0				-20.7				-25.4			

今月の業種別回答件数

		売上高		在庫数量		販売価格		取引条件		収益状況		資金繰り		設備操業度		雇用人員		業界の景況				
		増加	減少	増加	減少	上昇	悪化	好転	悪化	好転	悪化	好転	悪化	上昇	悪化	増加	減少	好転	悪化			
製造業	食料品	1	2	1	1	2	0	1	0	1	2	1	0	0	1	0	1	0	0			
	繊維工業	1	1	0	0	1	0	0	0	0	2	0	1	1	0	0	1	1	1			
	木材・木製品	0	4	0	1	0	2	0	1	0	3	0	2	0	3	0	2	0	3			
	紙・紙加工品	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1			
	印刷	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1			
	窯業・土石製品	0	3	0	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	1			
	鉄鋼・金属工業	2	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	3	0	0	0	1	0	1			
	一般機器	1	1	0	1	1	1	0	1	0	2	0	0	0	1	0	0	0	2			
	電気機器	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1			
	輸送用機器	4	0	1	0	2	0	3	1	4	1	0	1	3	1	2	2	4	1			
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
非製造業	卸売業	2	1	2	0	2	0	0	0	1	1	0	1	/				0	0	1	2	
	小売業	1	3	1	2	4	1	0	2	0	5	0	3					0	2	0	4	
	商店街	4	1	1	3	2	2	0	1	1	1	1	1					0	1	0	1	
	サービス業	1	1	/				2	0	0	0	1	0					1	0	1	2	0
	建設業	1	2					3	0	1	1	2	2					1	1	0	2	0
	運輸業	1	0	/				2	0	0	1	1	1					1	0	2	0	2

3.情報連絡員からの報告

製造業

パン	・例年同様であるが、夏は気温の上昇により消費者の食欲も減退しパンの需要も落ちるため売上が減少する時期である。
織物業	・組合規模が縮小する中、それに見合った受注が今のところ入っている。他産地の規模も縮小しており、それに伴う受注もあり低位で安定している。
製材・木製品	・6月の木造住宅新設着工数は対前年比で15カ月連続のマイナス。キッチンやトイレの主要設備の値上げで、住宅価格が高騰していて購入意欲低下を招いている。建築の落込みで木材取引が鈍い。資材価格は下げ傾向。
印刷・同関連業	・売上高はコロナ禍前に近い水準まで回復している。すべての資材が値上げしているため、利益率が下がっており、より売り上げ増が求められる。資材値上げに対して、価格転嫁を進めていた効果が出てきているが、ここにきて買い控えにより需要が停滞しているように感じている。一方、材料高・エネルギー高にもかかわらず価格が下がり続けている地区もある。
骨材・石工品等	・引続き前期同様、売上げが前年より減少しており、収益状況が厳しくなっている。
金属製品	・エネルギー・原材料の高騰により、著しく収益率が悪化している。
	・家電販売在庫過多による生産調整中につき減産した。
生産用機械器具	・電気自動車普及によりプレス加工会社の受注が減少している。
	・主要取引先の仕事量の減少のため、他からの仕事を受注しなければならないので対応が厳しい。
電気機械器具	・7月の国内出荷額集計は巣ごもり需要の反動などにより家庭用エアコンが77%、冷蔵庫が95%とマイナスとなった。・冷蔵庫の生産は出荷減少により前年度割れが継続している。 ・家庭用エアコンの生産は出荷減少をうけて2ヶ月連続の大幅減産となった。 ・業務用エアコンは輸出の在庫調整の影響により減産が続いている。
輸送用機械器具	・東京電力福島第1原発処理水放出を受けて中国で抗議や嫌がらせが相次いでいる問題が、日本の製造業へマイナス影響が波及拡大することに大きな懸念と注視が必要だと思われる。
	・4輪車の生産は半導体の不足による生産計画の変更もなくなり安定した生産が戻ってきたが、海外の市況影響で当初の計画より減少している製品群もある。
	・製造業の活動活性化に伴い人手不足感が顕著になってきている。他の業種も業務復調で人手不足であり、賃金の上昇もあり人手不足感の加速と言った状況である。

非製造業

セメント卸売業	・8月の取扱量は、災害復旧関連工事がピークアウトし、大型プロジェクト工事も乏しく2割の大幅減少となった。
鮮魚小売業	・経済活動の正常化、物価情報を背景に、小売業・卸売業とも売上高は前年を上回ったものの、原材料及びエネルギー関連の光熱費・配送・保管料等の高止まりにより収益状況は厳しいものとなった。また、業界全体で人手不足の状況にあり、需要及び業績回復の足かせとなりそう。原発処理水放出に起因する中国における日本産水産物の全面輸入禁止措置については、当該市場では今のところ大きな取引の落ち込みといった影響は見られない。
燃料小売業	・9月7日～新しい燃料油激変緩和対策事業として12月末までの延長が決定しスタートした。早速、数円程度の値下げ効果が出ているが、市中の石油販売業者は、9月7日以前に仕入れた在庫は新制度前の仕入れ額の高いままの在庫であるため、制度効果が出るにはタイムラグがある。また政府がガソリンの販売価格が175円になるように補助金を投入することだが、175円になるのは10月以降に補助率が拡充されたところになる見通し。
野菜・果実小売業	・酷暑の影響で果菜類、葉菜類全般の入荷が少なく、高値になっている。
各種商品小売業	・8月11日から13日までイベントを開催した。昨年に比べて来街者が多かった。静岡市のペイペイ10%ポイント還元事業が、お店の売りに貢献している。
	・新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類になってから最初の夏休みという事もあり、外出機会が増えた事に伴い、ファッション店舗の売りが昨年に比べ良かった。
宿泊業	・組合旅館の宿泊人員は、前年比97.2%と悪化した。台風7号の影響で、トップシーズンのお盆期間にキャンセルが多く発生しマイナスの原因となった。雇用状況は、引き続き人手不足の状況。
	・夏の宿泊予約は順調に推移していたが、台風7号の影響により8月13日～16日のお盆の時期を中心にキャンセルが集中し、当初の予想を大きく下回った。訪日外国人の宿泊が増え、今後、更なるインバウンドの増加が期待される。 人手不足が深刻な状況であり、喫緊の課題となっている。
総合工事業	・インボイス制度の導入により、いわゆる一人親方という立場の職人が廃業して転職するケースが増えている
	・8月も建築資材の値上げが続いている。地元建設会社の新築木造住宅の落ち込みも続いている。木材価格は横ばいで推移していたが、品薄により価格上昇の気配がある。
	・静岡県中部が特に仕事が薄い感じがある。また、コロナ融資の返済が始まっているので、資金繰りが圧迫してきている会社が出てきていると聞いている。
職別工事業	・労務の不足による価格の上昇はあれど、労務状況がひっ迫している状況は先が見えず、年末にかけてさらに状況は悪化していく模様。請け負う金額の高騰だけでは解決できず、根本的な構造改革が望まれる。
道路貨物運送業	・燃料の価格高騰が経営悪化に影響している。官民の親密度は測りかねるが、補助金対応ではなく、減税をしてほしい。 ・2024年問題に鑑み、運賃価格が上昇したが、その価格より安く請け負い、仕事を奪おうとする運送会社がいまだにいる。 ・運賃価格が上昇し、従業員の給与が上昇しても、業界のイメージが変化するまで時間がかかる、現在の免許制度を変えないと新しい人材は入ってこない。
道路旅客運送業	・依然として回復の動きは鈍く、コロナ前との比較では輸送人員が75%、運送収入が77%となっている。先行きを見ても運転者不足や燃料価格の高騰など不安材料ばかりが目立つ。8月に入り昨年10月に申請した運賃改定が認められ、伊豆地区では9月11日から、静岡地区では9月25日からスタートする。厳しい状況を抜け出せるよう期待したい。

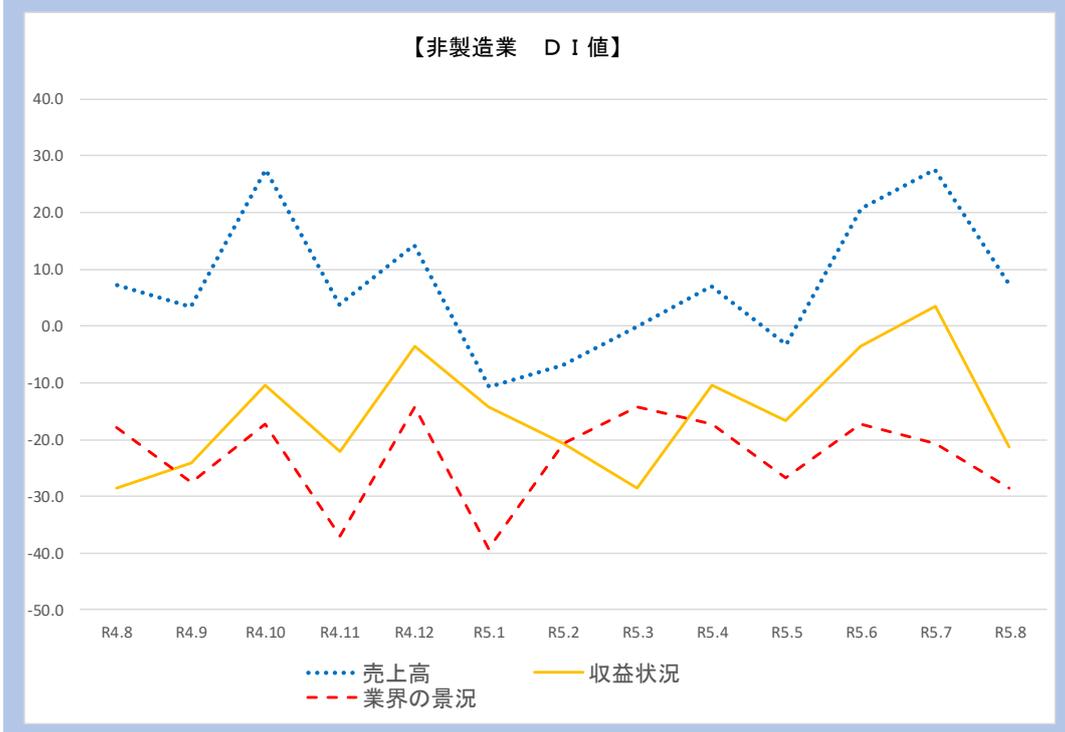
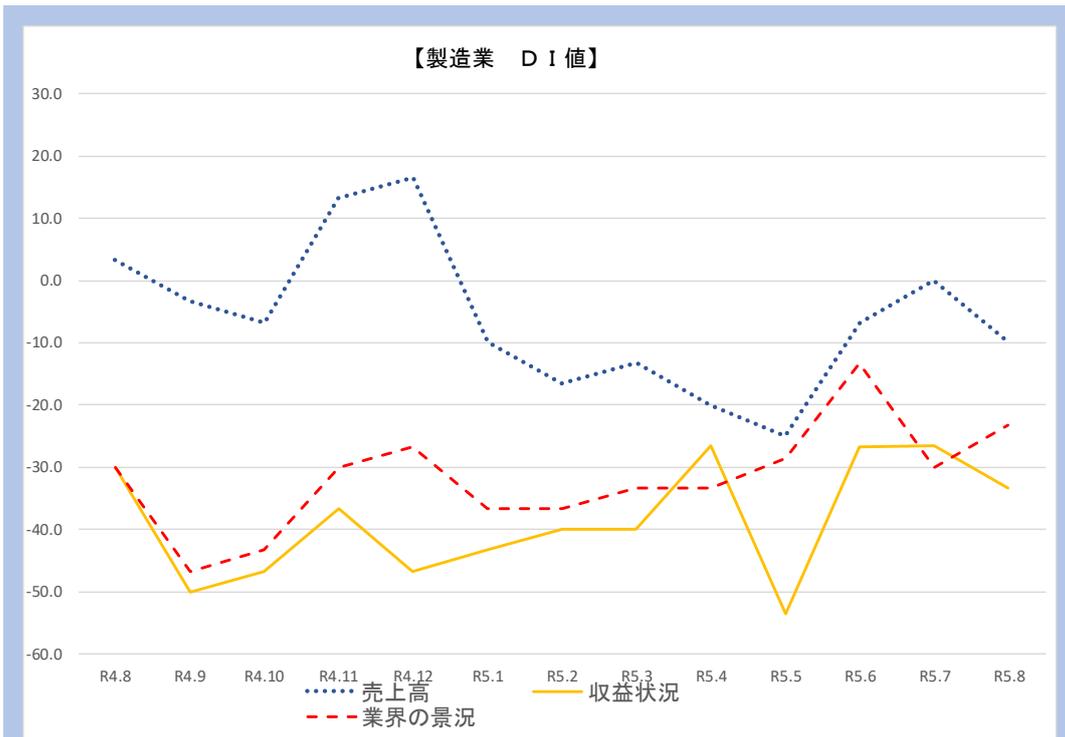
4. 主要三指標における DI 値の推移

■ 2022年8月期～2023年8月期までの推移

全体	R4.8	R4.9	R4.10	R4.11	R4.12	R5.1	R5.2	R5.3	R5.4	R5.5	R5.6	R5.7	R5.8
売上高	5.2	0.0	10.2	8.8	15.5	-10.3	-11.9	-6.9	-6.8	-13.8	6.8	13.6	-1.7
収益状況	-29.3	-37.2	-28.9	-29.9	-25.9	-29.3	-30.5	-34.5	-18.7	-34.5	-15.2	-11.9	-27.6
業界の景況	-24.1	-37.3	-30.5	-33.4	-20.7	-38.0	-28.8	-24.1	-25.4	-27.6	-15.2	-25.4	-25.9

製造業	R4.8	R4.9	R4.10	R4.11	R4.12	R5.1	R5.2	R5.3	R5.4	R5.5	R5.6	R5.7	R5.8
売上高	3.3	-3.3	-6.7	13.3	16.6	-10.0	-16.6	-13.3	-20.0	-25.0	-6.7	0.0	-10.0
収益状況	-30.0	-50.0	-46.7	-36.7	-46.7	-43.3	-40.0	-40.0	-26.6	-53.6	-26.7	-26.6	-33.3
業界の景況	-30.0	-46.7	-43.3	-30.0	-26.7	-36.7	-36.6	-33.3	-33.3	-28.5	-13.3	-30.0	-23.3

非製造業	R4.8	R4.9	R4.10	R4.11	R4.12	R5.1	R5.2	R5.3	R5.4	R5.5	R5.6	R5.7	R5.8
売上高	7.1	3.4	27.6	3.7	14.3	-10.7	-6.9	0.0	6.9	-3.3	20.7	27.6	7.1
収益状況	-28.5	-24.2	-10.4	-22.2	-3.6	-14.3	-20.7	-28.6	-10.4	-16.7	-3.5	3.5	-21.4
業界の景況	-17.8	-27.6	-17.2	-37.0	-14.2	-39.3	-20.7	-14.3	-17.2	-26.7	-17.2	-20.7	-28.6



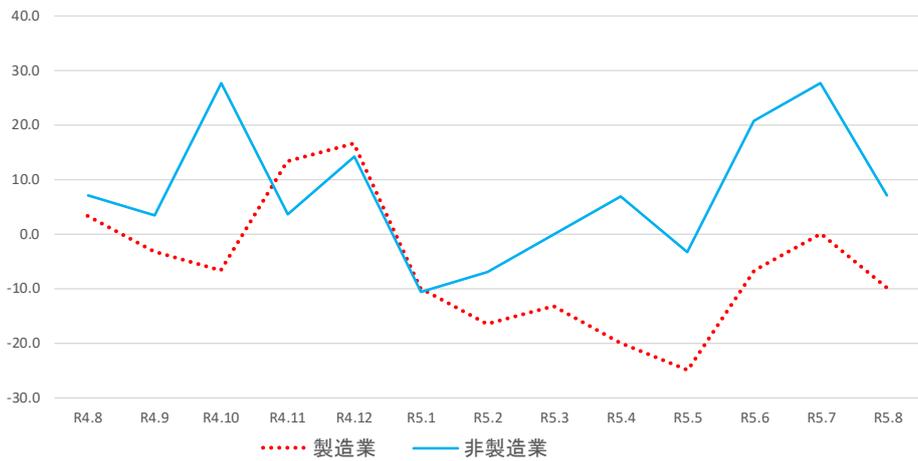
■2022年8月期～2023年8月期までの推移

売上高	R4.8	R4.9	R4.10	R4.11	R4.12	R5.1	R5.2	R5.3	R5.4	R5.5	R5.6	R5.7	R5.8
製造業	3.3	-3.3	-6.7	13.3	16.6	-10.0	-16.6	-13.3	-20.0	-25.0	-6.7	0.0	-10.0
非製造業	7.1	3.4	27.6	3.7	14.3	-10.7	-6.9	0.0	6.9	-3.3	20.7	27.6	7.1

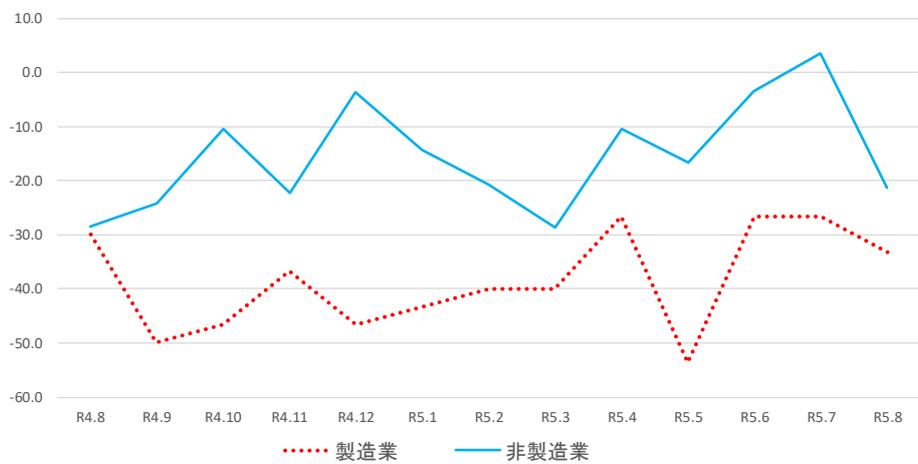
収益状況	R4.8	R4.9	R4.10	R4.11	R4.12	R5.1	R5.2	R5.3	R5.4	R5.5	R5.6	R5.7	R5.8
製造業	-30.0	-50.0	-46.7	-36.7	-46.7	-43.3	-40.0	-40.0	-26.6	-53.6	-26.7	-26.6	-33.3
非製造業	-28.5	-24.2	-10.4	-22.2	-3.6	-14.3	-20.7	-28.6	-10.4	-16.7	-3.5	3.5	-21.4

業界の景況	R4.8	R4.9	R4.10	R4.11	R4.12	R5.1	R5.2	R5.3	R5.4	R5.5	R5.6	R5.7	R5.8
製造業	-30.0	-46.7	-43.3	-30.0	-26.7	-36.7	-36.6	-33.3	-33.3	-28.5	-13.3	-30.0	-23.3
非製造業	-17.8	-27.6	-17.2	-37.0	-14.2	-39.3	-20.7	-14.3	-17.2	-26.7	-17.2	-20.7	-28.6

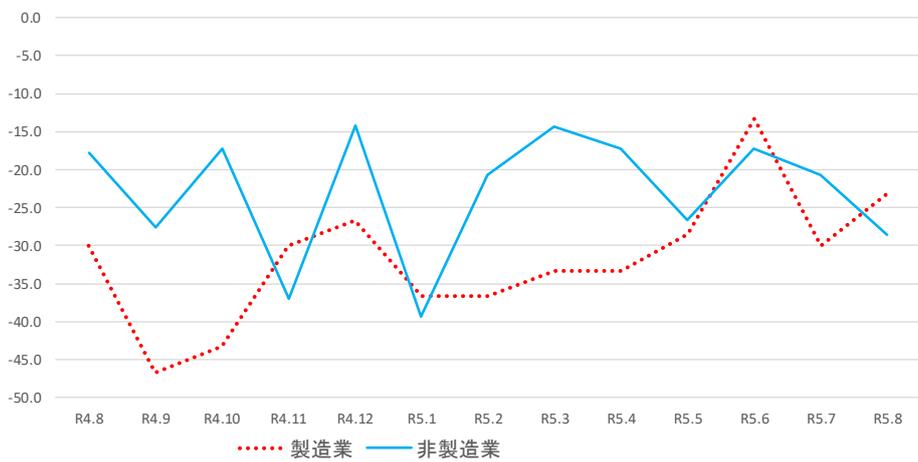
【売上高／製造業と非製造業の比較 D I 値】

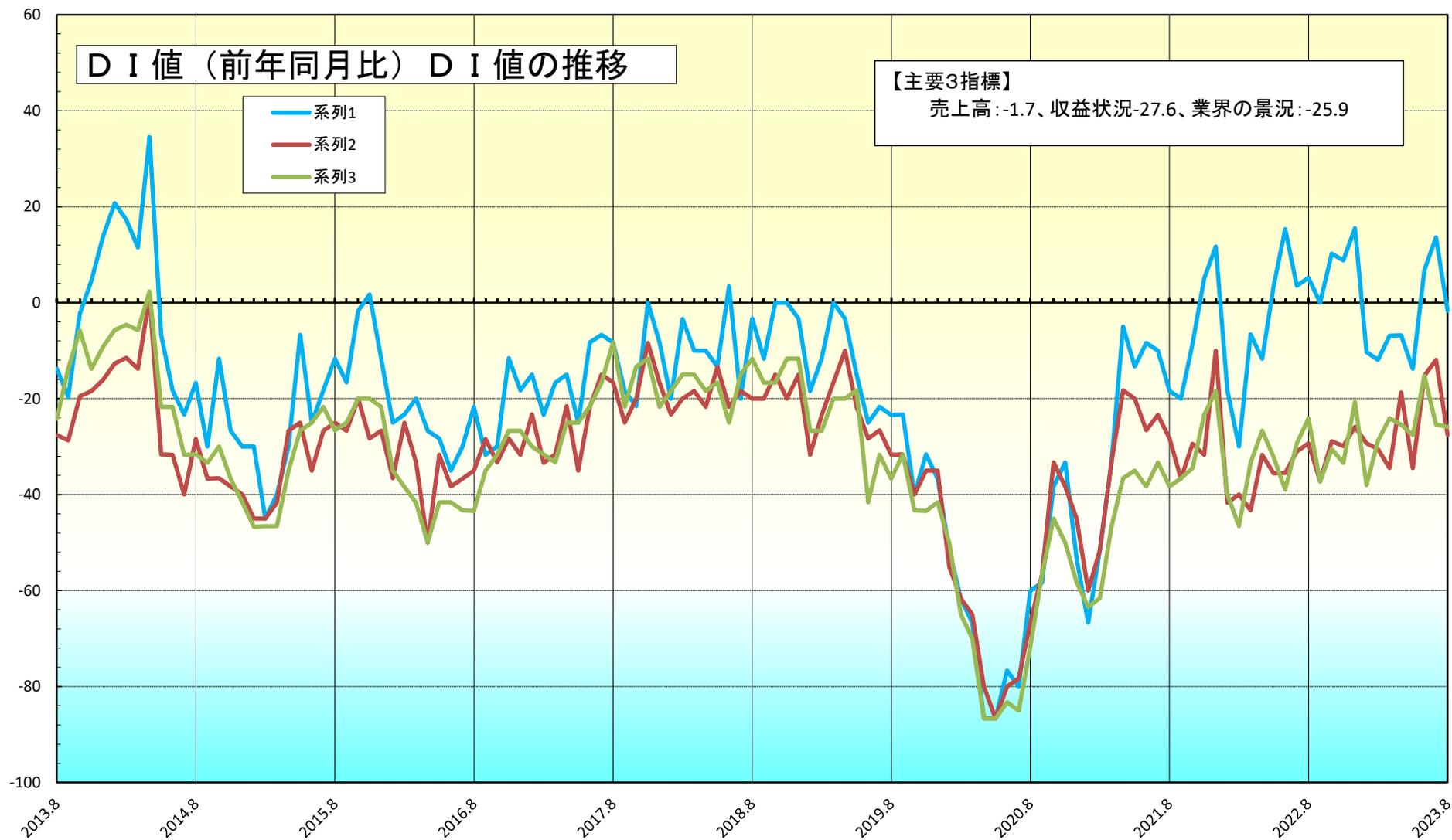


【収益状況／製造業と非製造業の比較 D I 値】



【業界の景況／製造業と非製造業の比較D I 値】





このD I 値は県内の地域、業種を代表する組合役職員60名の情報連絡員から寄せられた景況等に関する情報の一部を表したものです。

静岡県中小企業団体中央会